

やまびこだより

迎春

2023. 1 第56号

目次	新年のごあいさつ …………… 2	春の植菌の時期が近づいています … 4
	スマート林業について …… 3	木材流通センター市況 …… 4
	組合店舗の完成について … 3	組合員の皆様へ …………… 4

新年のごあいさつ

最上広域森林組合 代表理事組合長

佐藤 景一郎



謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、組合員各位に於かれましては、日頃から森林組合の活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜りまして、改めまして感謝と敬意を表するものであります。

昨年を振り返ってみますと、令和四年は、引き続き新型コロナウイルスによって国民生活に大きな影響を与えた一年でありました。

しかしながら、ウイズコロナという言葉に代表されるように、感染防止と経済の両立を考えたときに、大きな意味において経済を立て直すことが同時に行われないと結果的にコロナを乗り越えることが出来ないとの考えが大方の意見となりました。

一方で、ロシア・ウクライナ戦争が勃発し燃料や資材の高騰、また、円安による影響が開始日本経済の弱さを露呈することになりました。

林業・木材産業界においてもご承知のようにウッドショックによる木材の高騰があり、原木価格も一・五倍程度の高騰がみられましたが、昨年の六月頃から価格は下がりはじめ、共販の不落物件や立木販売の不落物件が開始原木価格も以前の価格までは下がってははいないものの、この傾向は続いております。

また、製品のダブつきも見られることから、その動向に一層注視し、情報の収集に努めていかなければならないと考えております。

川上としては、原木の安定供給のためにも「伐ったら植える」を合言葉に進めております「やまがた森林ノミクス」の一層の推進のために再造林を積極的に推進し、また、その後の保育の分野においても、譲与税による高上げを各市町村にお願いをしながら所有者負担なしで、資源が循環していくスキームを構築していかなければなりません。

国においても国産材のシェア拡大及び持続的かつ安定的な供給体制の構築を目指し、豊かな森林資源を活用して国産材生産サイクルを活性化させ、林業経営・林業従事者の所得の向上など、山村地域を活性化させる「グリーン成長」の実現を強く謳っております。同時に森林環境譲与税の配分の見直しが確実になり、我々、中間山地にある地域に多くの譲与税が配分され直接的に森林のために使われる事が、本来の趣旨に沿った使い道になるよう引き続き運動していかなければなりません。

その意味からも、昨年からの事業の継続によって各市町村との譲与税に関する協議を継続し、そのお手伝いをさせて頂くように働きかけていくようにしたいと考えており、森林組合として組合員のために何が出来るかを

協議して参ります。

人材の育成については、当組合には農林大学校の卒業生が、この四月で四人になり、現在、元気に林産事業に取り組んでおります。労働環境の改善など多くの事を克服し、若者が元気に働ける職場づくりに引き続き取り組んで参ります。

まずは、お陰様で昨年に完成いたしました、林産事業を中心に活用する目的の建物には、各ミーティングルームや会議室、乾燥室、シャワールーム、収納庫、種駒や林業資材を扱う店舗など気軽に立ち寄って頂ける空間をつくっていきたいと考えており、是非、組合員の皆様もご活用頂ければ幸いです。

さて、農林大学校に隣接する東北農林専門職大学も令和六年の完成を目指して現在、建設が進んでおります。我々待望の四年生大学であり国際的にも通用する人材の育成や林業の社会的地位の向上に大きく貢献する人材の育成に貢献し県内に留まらず県外からも学生が募集されます。このことは、最上地域のみならず山形県全体にも好影響を与え林業界の未来に繋がる重要な拠点になっていく事と考えます。我々、森林組合も微力ではありますが、実務実習の提供などを通じて農林大学校と同様に貢献できればと考えております。

最後に地球温暖化防止関連の二〇五〇年カーボンニュートラルに向けての二酸化炭素吸収量の森林の重要性は、益々増大してきているところですが、昨年の八月のJ-クレジット制度の改正によって主伐後の再造林が実質CO₂吸収と認められるなど、同制度の使い勝手が大きく改善しております。森林クレジットの発行・販売の円滑化・活発化が検討されている中、森林組合にとって森林所有者から販売までに必要な業務が、それを必要とする需要側の企業とマッチングできる体制が整ったときに、何らかのビジネスチャンスが生まれる要素が存在します。今後は、森林クレジットが、何らかの形で森林整備を行う森林組合や森林所有者に恩恵がもたらされるようにしなければなりません。

このように、環境問題の重要なファクターを担う森林の重要性が益々増大して参りますが、令和五年も、組合員の皆様とともに林業の再生と地域の活性化に向けて取り組んで参りますので、よろしくご指導頂きますようお願いいたします。年頭のご挨拶と致します。

スマート林業 について



スマート林業とは、デジタル管理・ICT技術活用した安全で効率的な自動化機械による林業です。林業が対象とする工程（計画・造林・育林・伐採搬出・流通等）において、様々な技術・機械等を活用することを目的としています。当組合では、森林GISやGPS端末・ドローンを導入し、作業の効率化を図り、また、高性能林業機械で一人当たりの生産性を向上させ、労働安全性の確保、雇用形態の安定化などによる担い手の確保・育成に努めております。

令和四年十月に真室川町内の県有林、町有林においてスマート林



山もつとモット

造林機械の比較デモでは、オペレーターが乗車したまま伐根処理や下刈り、苗木運搬等が行える「山もつとモット」、リモコンで遠



ロングリーチ伐倒ソー

業研修会（現地研修）を開催されました。研修会では、ロングリーチ伐倒ソーの実演、下刈りや伐根処理等を行える造林機械等の実演を実施しました。



マルチャー

く離れた場所から作業が行える「マルチャー」を実際の現場で稼働させ実用性を検証しました。



ハイドロマチック・モア

隔操作が可能で、車体が最大六十 cm 上昇して伐根などの障害物を乗り越え、地形の変化にも対応できる「ハイドロマチック・モア」、

組合店舗の 完成について

特産加工場跡地に、かねてより建設中の組合店舗がこのほど完成し、令和5年12月下旬より営業開始の運びとなりました。林業用資材や種駒等をお買い求めの際は是非、お立ち寄りください。



春の植菌の時期が近づいています

種駒及びオガ菌の購入なら当組合に!!

森産業

1,000 ケ入 (9.2mm)

税込 **3,960円**

なめこ1号 晩生、なめこ2号 中生
なめこ3号 早生、しいたけ 290号



余目河村

500 ケ入 (8.5mm)

税込 **1,870円**

なめこ、しいたけ、ブナカノカ、ヒラタケ
ムキタケ、クリタケ、エノキタケ、キクラゲ
タモギタケ

※その他、大貫・日本きのこセンター等もご希望により取り寄せ可能です。
(少量の場合は送料が個人負担となる場合があります。お早めにご連絡下さい)

令和4年度 山形県森連木材流通センター 10月市況

単位 円/m³

木材流通センター			天童				庄内			
市日			第1307回 10月11日				第292回 10月18日			
樹種	長級(m)	径級(cm)	高値	中値	安値	備考	高値	中値	安値	備考
スギ	4.00	36上	-	17,280	-	選木	-	16,560	16,200	
〃	〃	30上					-	-	-	
〃	〃	20上	-	16,200	14,400		16,740	16,560	16,200	
〃	〃	14~18					16,200	15,120	13,680	
〃	〃	13下					10,800	10,440	-	
〃	3.65	20上					17,350	16,560	-	
〃	〃	14~18					-	15,120	14,508	
〃	3.00	20上	-	16,200	-		-	16,200	15,480	
〃	〃	14~18					-	16,200	14,940	
市日			第1308回 10月25日				第 回 月 日			
樹種	長級(m)	径級(cm)	高値	中値	安値	備考	高値	中値	安値	備考
スギ	4.00	36上	63,468	18,000	14,400	選木				
〃	〃	30上	20,520	17,280	15,120	選木				
〃	〃	20上	18,720	16,200	15,120					
〃	〃	14~18								
〃	〃	13下								
前森スギ	6.00	34上	32,004	24,480	22,320	選木				
スギ	3.65	20上								
〃	3.00	20上	17,388	16,200	14,040					
〃	〃	14~18								

組合員の皆様へ ~名義変更について~

下記の事項が生じた場合、組合員資格に係る届出(手続き)が必要となります。該当される方は当組合までご連絡下さい。

- (1) 名義人死亡による相続 (2) 住所変更 (3) 譲渡 (4) 共有林の代表者の変更

現在、組合員台帳に登録されている住所・氏名で広報等を郵送した際、宛先不明等で返送されてしまう組合員が多数おられます。組合員台帳を更新する上で大切な届出(手続き)となりますので、ご協力お願いいたします。